

BHIC-HV-00

★ OBDコネクタ-差し込みで
トヨタ/レクサスのハイブリッド車を
2WD整備モードへ移行出来ます！



【製品イメージ】

■ 操作手順 サイズ; W137 × L48 × H32

- ① 車両のOBDカブラに、本ツールを差し込む
- ② パワー(プッシュスタート)スイッチを2回押す(IG-ON)
- ③ ブレーキペダルを踏みながら、パワースイッチを1回押す(READY)
- ④ モニターもしくはインパネ上にマークが点灯・点滅(表示)され、整備モードへ移行(エンジン連続運転)



OBDコネクタ-
(車両により設置場所が異なります)



パワースイッチ



整備モード移行時に表示されます
(車両により画面表示が異なります)

- ⑤ 整備モードの解除は、パワースイッチを1回押し(IG-OFF)にします

注) ツールをコネクタから外しても、整備モードは解除になりません。

◎ プリウス/アクアなど複数の車種に対応！

■ 対象車両
(一部抜粋)

トヨタ ハイブリッド車

車名	年式	型式	駆動	2WD整備モード MAINTENANCE MODE
プリウス	1997年～	10系	FF	×
	2003年～	20系	FF	◎
	2009年～	30系	FF	◎
プリウスα	2011年～	40系、41系	FF	◎
プリウスPHV	2012年～	35系	FF	◎
アクア	2011年～	10系	FF	◎
エスティマ ハイブリッド	2006年～	20W系	4WD	◎
SAI	2009年～	10系	FF	◎

レクサス ハイブリッド車

車名	年式	型式	駆動	2WD整備モード MAINTENANCE MODE
RX ハイブリッド	2013年～	10系	FF	◎

※2015年4月現在(一部抜粋)、弊社調べにより可否判明している車種です。
その他車両につきましては、日立オートパーツ&サービスのホームページにてご確認ください。



【ご注意】

- ・整備モードのまま道路上を走行されると、トランスアクスルを破損する恐れがございます。
- ・整備モード移行中にダイアグコードが認識されてもマスターウォーニングは点灯しますが、マルチセンターディスプレイの警告灯の異常表示はされません。整備モードを解除して点検を実施してください。
- ・一部4WD車では、ブレーキ制動力試験の際、整備モードをOFFの通常状態に戻しての試験が必要となります。
- ・本ツールでは、4WD整備モードへは、移行しません。